

令和7年度 沖水中学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

学校名	都城市立沖水中学校		校長名	加藤 正嗣	
学級数	14	児童生徒数	413名	職員数	29名
教育目標	『精励・敬愛・鍛錬』主体的に学び、心身ともに健やかで、人間力あふれる生徒の育成				

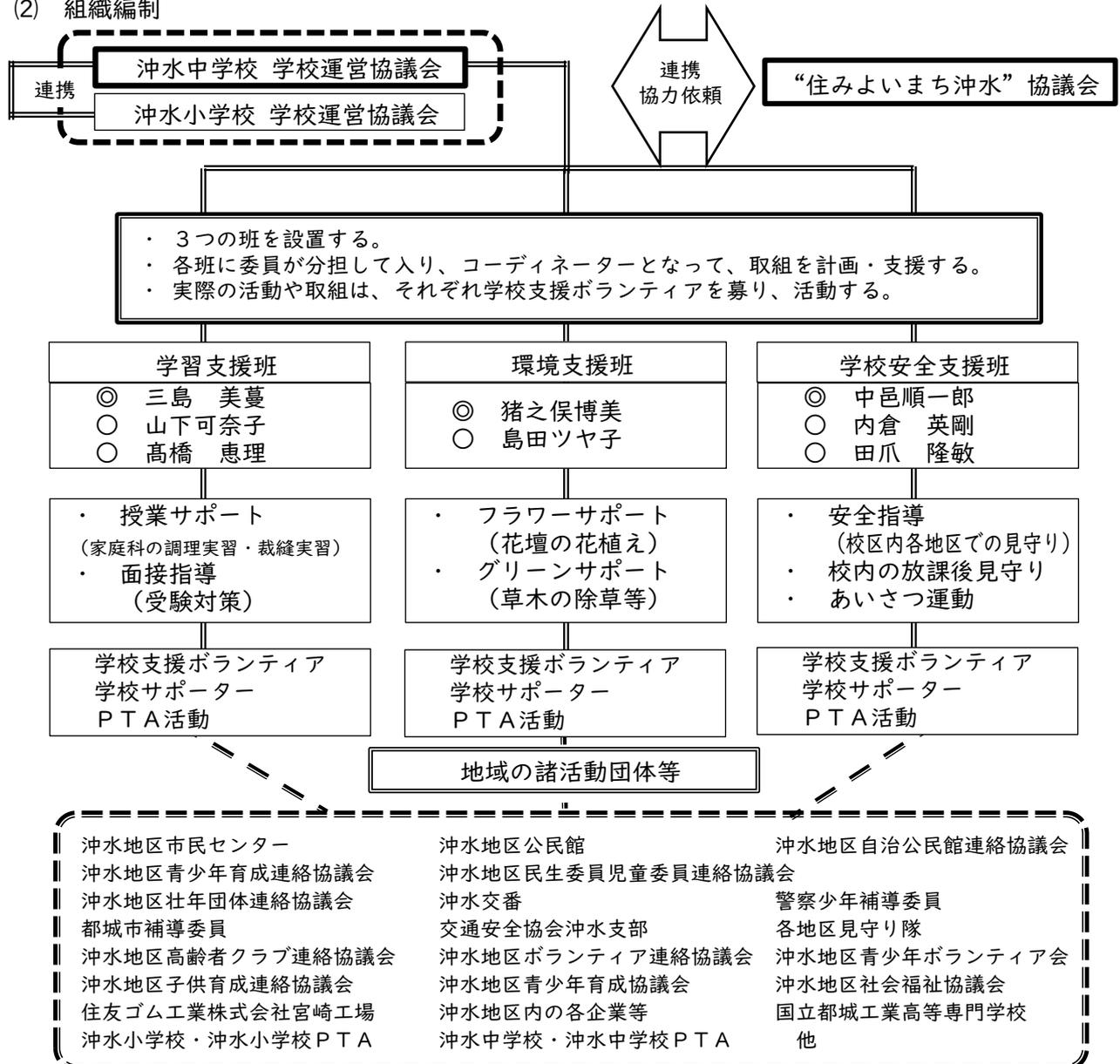
2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員（計8名）・事務局（計4名）

No.	所属名（役職）	氏名	備考
1	沖水地区青少年育成協議会会長	中邑 順一郎	会長
2	沖水地区壮年連絡協議会前会長	猪之俣 博美	副会長
3	“住みよいまち沖水”協議会会長	三島 美蔓	
4	太郎坊地区民生委員児童委員	島田 ツヤ子	
5	沖水中学校元PTA役員	山下 可奈子	
6	沖水地区ボランティア連絡協議会会長	内倉 英剛	
7	沖水小学校校長	田爪 隆敏	
8	沖水中学校PTA会長	高橋 恵理	

事務局	役職	氏名
	校長	加藤 正嗣
	教頭	牧之瀬 朗
	教務主任	長谷川 純一
	事務主査	秋月 由香

(2) 組織編制



3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
5月17日	・ 体育大会参観
6月9日	・ 第1回学校運営協議会(委嘱状交付、委員紹介、協議会の趣旨説明、校長の学校運営ビジョンの説明、年間活動計画、授業参観)
9月16日	・ 第2回学校運営協議会(授業参観、学校の現状と課題説明、学校評価基本方針確認)
10月10日	・ 校内文化祭参観
10月30日	・ 第3回学校運営協議会〈小中合同〉(授業参観、小中学校経営と現況説明、学校や地域の課題に対する対応)
12月11日	・ 学校参観日フリー参観(中止)
1月26日	・ 第4回学校運営協議会(授業参観、学校支援及び地域支援の具体的取組について、学校評価アンケート調査結果報告と意見交換)
2月20日	・ 学校参観日フリー参観(立志式及び授業参観)
2月26日	・ 第5回学校運営協議会(学校関係者評価の報告、今年度のまとめ、次年度活動検討)

4 今年度実施した「熟議」のテーマ(小中合同学校運営協議会を含む)

- 6月:「学校だけでなく地域を含めたあいさつの推進」
- 9月:「授業等学習支援について」
- 10月:「学校や地域の課題に対する対応」
- 1月:「より詳しく学校の様子を知っていただくための方策」

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

① 学習支援

- ・ 授業サポート…家庭科の調理実習の時間の実習補助として、学校運営協議会委員の働きかけで、各公民館長を通じて地域の方々に依頼し、安全かつスムーズに実習を行うことができた。
- ・ 面接指導支援…3年生の受験対策として行われる面接指導に教職経験のある地域の方に協力を依頼し、面接練習を行った。緊張感のある中で充実した活動を行うことができた。



【調理実習授業サポート】

② 環境支援

- ・ フラワーサポート…環境支援担当のコーディネートにより、地域の高齢者クラブの方々による花壇の花植え(ひまわり・葉牡丹など)や手入れをしていただいた。昼休みの時間帯に活動していただくことでボランティアの生徒とともに活動することができた。



【フラワーサポートの様子】

③ 学校安全支援

- ・ 朝のあいさつ運動…生徒会の活動を後押しし、地域に挨拶の輪を広げようと、学校運営協議会並びに沖水地区青少年育成協議会に参加協力をいただきあいさつ運動を行うことができた。
- ・ 安全見守り…毎週水曜日、正門と東門で地域の見守りボランティアの方々に生徒の下校の様子を見守っていただくとともにあいさつの声掛けを行っていただいた。



【朝のあいさつ運動】

(2) 教育課程の改善(カリキュラム・マネジメント)

- ・ 本校は家庭科の免許を持った教員が不在の状況があり、各学年の家庭科を他教科の職員で分担して担当している。技能を伴う調理や縫の実技については生徒の安全管理及び技能面のアドバイスが必要となるため、食改善指導員等、地域の人材を活用するよう時間の設定を工夫した。

(3) 地域貢献活動

- ・ 地域から依頼があった行事等の運営協力要員として生徒がボランティアで参加した。毎年行われる「沖水地区大運動会」は天候不良で中止となったが、「大淀川こどもサミット」には19名、「大淀川流域一斉クリーンアップ」には76名、「沖水まつり」には15名、市の福祉協議会主催のボランティアフェスティバルにはプレゼン発表の4名の他に15名が参加した。

6 学校運営協議会の成果と課題 (○:成果 ●:課題)

- 学校の実態を見ていただきながら、実践につながるご意見をうかがうことができた。また、授業や環境整備の面を含め様々な支援をいただけた。
- 地域での生徒の様子等具体的な情報をいただき、学校での指導につなげることができた。
- 協議した内容が保護者とも共有できるように工夫して、PTA活動の充実につなげたい。

7 次年度の方向性

- 不登校生徒へのアプローチや別室登校生徒への対応について方策を協議する。
- 学校運営協議会において出された方策について、学校だより等の様々な方法で保護者や地域の方への周知ができるように工夫する。